2026 年 10 月 19 日

報道関係者各位

コーユーレンティア株式会社

「サステナブル倉庫モデル促進事業」に申請し、採択されました

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：梅木孝治、東証スタンダード：7081、以下「コーユーレンティア」）は、環境省と国土交通省の連携事業である「サステナブル倉庫モデル促進事業」に申請し、採択されたことをお知らせいたします。

この補助事業は、物流施設における省 CO_2 化・省人化機器等および再生可能エネルギー設備の同時導入を支援することで、サステナブル倉庫モデルの普及を図り、物流業界全体の CO_2 排出削減や担い手不足対策等に貢献するものです。

コーユーレンティアは脱炭素に貢献するため、2020 年、「再エネ 100 宣言 RE Action」に参加し、物流倉庫の屋根へ太陽光パネルの設置等を進めてまいりました。2022 年に主要拠点である、連結子会社で物流を担うコーユーロジックス株式会社の「関東エリアセンター（現 関東ステーション 千葉県白井市）」に設置したのを皮切りに、2023 年に「九州エリアセンター（福岡県太宰府市）」、そして 2025 年には「中部エリアセンター（愛知県愛西市）」の設置が完了しました。現在は合計で最大 180kW の発電量を可能としており、2030 年までに事業活動における使用電力を 100%再生可能エネルギーにすることを目標に掲げています。

2026 年末を最終年度とする中期経営計画を推進し、重要施策として「経営基盤の強化」に取り組んでいます。特に物流改革は、最重要課題と捉えており、コーユーロジックス株式会社や ICT 関連の工事を担うイノテックスエンジニアリング株式会社等とともに、プロジェクトを推進しています。

物流改革においては、関東ステーションを従来のメンテナンス・保管・物流から、最先端で高品質なメンテナンス専用倉庫として位置づけました。今回採択された事業では、その実現に向けて「太陽光発電システム」「蓄電池設備」および再エネ電力を活用した「EV 充電設備」を導入します。あわせて、サステナブル倉庫としての自動化・省人化を実現する「AGV（無人搬送車）」等も採用します。

これにより中長期的な視点では、物流業界が抱える最重要課題としている、人手不足とカーボンニュートラルの解決を図るとともに、災害時の BCP 対策の実現も目指します。

今回の取り組みを通じて、当社グループは、環境と人に配慮した、効率性と持続可能性を両立する「環境配慮型サステナブル倉庫」を起点として、価値ある商品・サービスを提供し、サステナブルな社会の実現と社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上

【参考】
・採択結果（公益財団法人北海道環境財団　HP）
https://www.heco-hojo.jp/yR08/souko/adopted.html

【本リリースに関する問い合わせはこちらまで】
コーユーレンティア株式会社　IR 広報室　TEL:03-6478-9724　koho@koyou.co.jp